

令和5年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード		22091		事業名		放課後児童クラブ事業		
	事業手法		☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☒ 補助等 ☐ その他(指定管理)						
	施策体系	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実				予算科目	会計	01:一般会計
		基本施策	02:安心して子どもを産み育てられる環境づくりの推進					款	03:民生費
		施策の方向	06:子どもの居場所づくりときめ細かな子育て支援の推進					項	02:児童福祉費
重点プロジェクト		04:「未来へのトビラ」プロジェクト				目		01:児童福祉総務費	
事業期間		H 17 年度 ~ R - 年度		主な根拠法令等		児童福祉法			

評価分類		A1	
------	--	----	--

担当部署	
部	子ども未来部
課	子ども政策課 保育サポートG

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)		事業の対象(誰に、何に対して)		事業の目的(どのような状態にしたいのか)		事業の内容(どのような取組を行うのか)	
	児童福祉法第6条の3第2項に規定する放課後児童健全育成事業について、同法第21条の9の規定により着実に実施されるよう、必要な措置の実施に努めなければならないとされている。		小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいない児童及び保護者		授業の終了後に放課後児童クラブで適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。		公設については指定管理による運営を行い、民設については、運営に係る費用の補助を行う。また、通学する小学校に放課後児童クラブがない児童に対し、校区外放課後児童クラブへの送迎支援を実施する。	

③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度					
	事業計画		○放課後児童クラブの運営及び支援 ○校区外放課後児童クラブ通所送迎事業 ○放課後児童クラブの新設		○放課後児童クラブの運営及び支援 ○校区外放課後児童クラブ通所送迎事業		○放課後児童クラブの運営及び支援 ○校区外放課後児童クラブ通所送迎事業		○放課後児童クラブの運営及び支援 ○校区外放課後児童クラブ通所送迎事業					
	活動実績 (計画通り実施できたか)		放課後児童クラブ(24支援単位)に対し運営費補助等を行うとともに、放課後児童クラブが設置されていない小学校区から通学区域外のクラブへ通所する児童の送迎事業を実施した。また、利用希望に関するアンケートの結果、放課後児童クラブの新設は行わなかったが、児童数の増加に伴い、定員を増員するための既存施設の改修に係る費用を補助した。		放課後児童クラブ(24支援単位)に対し運営費補助等を行うとともに、放課後児童クラブが設置されていない小学校区から通学区域外のクラブへ通所する児童の送迎事業を実施した。また、物価高騰対策としての電気料金補助や新型コロナウイルス感染症対策としての消耗品等の購入経費を補助した。									
	計画額	事業費	211,600千円		216,861千円		205,100千円		221,837千円		210,600千円		216,300千円	
			131,700千円		135,820千円		127,100千円		132,314千円		132,000千円		137,000千円	
			0千円		0千円		0千円		0千円		0千円		0千円	
			50千円		50千円		50千円		50千円		50千円		50千円	
			79,850千円		80,991千円		77,950千円		89,473千円		78,550千円		79,250千円	
	決算額	事業費	210,096千円		203,416千円									
			127,731千円		119,692千円									
0千円			0千円											
50千円			50千円											
82,315千円			83,674千円											
①期間内計画額(R4-7)		843,600千円		②期間外計画額(R8-)		0千円		①+②総計画額		843,600千円				

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	221,837千円
次年度への繰越額	0千円



④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	放課後児童クラブの充足率	利用を希望する児童に対するクラブの充足率(利用児童数/利用申込者数)	成果	%	計画値	100	100	100	100
					実績値	100	100		
					計画値				
					実績値				
					計画値				
					実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
	A	放課後児童クラブへ運営費などの支援を行うことや物価高騰対策としての電気料金補助や新型コロナウイルス感染症対策としての消耗品等の購入経費を補助することにより、子どもの適切な遊び及び生活の場を確保することができた。
十分な成果を得た		

事業の対象	事業の目的
小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいない児童及び保護者	授業の終了後に放課後児童クラブで適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	市全体での児童数の減少傾向はあるが、小学校区によりニーズが増加する可能性がある小学校区と減少する可能性がある小学校区があることから、今後の利用ニーズの動向を把握し、対応する必要がある。



⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和6年度で対応する(した)もの 引き続き、国・県の交付金を基準とする放課後児童クラブへの運営費の支援などを行う。	令和7年度以降で対応するもの 国・県の交付金を基準とする放課後児童クラブへの運営費の支援などを行い、利用者ニーズが反映されたクラブの整備等を検討する。

【履歴】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	成果判定	A	A		
	事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)		

1次評価者	子ども未来部 子ども政策課 保育サポートGL 小林 久晃
最終評価者	子ども未来部 子ども政策課長 草川 温子